

Weekly Report

テーマ／自社の環境対策に対する取り組み

■ 日 時／2009年7月30日(木)7:30~8:30 ■ 場 所／カトリック布池教会内 聖ヨゼフ館



2009-10年度国際ロータリーテーマ

ロータリーの未来はあなたの手に

2009-10年度クラブ運営方針

「一人はみんなのために、みんなは一人のために」

会 長：野村 尚史
副会長：青木 昭憲
幹 事：加納 伸康
例 会：毎週木曜日
会 場：カトリック布池教会内聖ヨゼフ館
住 所：名古屋市東区葵1-12-23
電 話：052-935-7790

第194回例会 (第5回)

例会出席率

今 回 (7/30)		前 回 (7/23)		前々回 (7/16)	
会員数	27名	会員数	27名	会員数	27名
出席数	20名	出席数	18名	出席数	21名
欠席数	7名	補填数	5名	補填数	5名
出席率	74.1%	出席率	85.2%	出席率	96.3%

ゲスト紹介

いらっしゃいませんでした。

ビジター紹介

京都モーニングロータリークラブ 則内 健司 様
北ロータリークラブ 相馬 保之 様
浦野 三男 様

斉唱

奉仕の理想(ソングリーダー：石原君)

今月のお誕生日

4日 柴田 真由美 さん 14日 谷口 善彦 君

次回例会案内

- 開催日時／2009年8月6日 18:00~
- 開催場所／アサヒビアレストラン スーパードライ名古屋
- テ ー マ／『納涼例会』

ニコボックス報告

年間予算	前回までの累計	本日
648,000円	63,000円	4,000円

(北ロータリークラブ)

相馬君 新年度になって初めてお世話になります。

(名古屋葵ロータリークラブ)

山田(真)君 青木さん、小笠原さん、岡田さん、加藤さん、加納さん、村上さん、先日はお祝いの品をありがとうございました。

村上君 加納さん、先日の大阪での“タコ”おいしかったですね。

岡田君 朝、久しぶりです。

会長挨拶

野村尚史

皆さんおはようございます。

京都モーニング RC 則内さん、名古屋北 RC 相馬さん、浦野さん本日はありがとうございます。14日に青木会長エレクトと岡田財団委員長とともに財団セミナーに参加してきました。地区の新補助金についての話とともに、世界平和フェローシップの奨学生第4期生で現在在外務省の東南アジア情勢専門分析員の奥平さんのお話を聞いてきました。タイ・カンボジアの難民救済の活動の話が印象的で、ロータリーの活動でこのようなことも行われているということを実感しました。さて、本日の小ネタですが、先週イオンが100円ビールを発売しました。最近ではビール・発泡酒ほかさまざまなビール等が販売されていますが、値段に差がかなりあります。それぞれの違いはわかりますか？



これは、麦芽の使用割合によって分けられているようです。

また、値段の違いはどうして起きるのでしょうか？

これの大きな一因は酒税にあります。

麦芽使用量等により、税金にかなりの差があります。企業が法律を研究し、開発すると、国が増税で対抗するという図式が10年ほど続いています。これは酒税にかかわらず法人税等でも頻繁におこなわれており、知恵比べの様相です。

いずれにしても、税法はじめ法律を読みこなすことはビジネスにもつながります。

- ・ 上期年会費未納の方は7月31日までに入金お願いします。
- ・ 7月23日(木)19:00第1回理事会を行いました。
- ・ 7月2・9日のweeklyがアップされています。
- ・ 地区新世代委員会よりRYLAセミナーへの受講生推薦のお願いが来ています。推薦される場合は幹事までご連絡下さい。
11月14日～15日の1泊2日です。
- ・ 8月13日(木)は定款により休会です。
- ・ 9月17日(木)ガバナ補佐訪問 聖ヨゼフ館
6:50～7:30 会長・幹事懇談会
7:30～8:30 例会
8:30～10:00 クラブ協議会
(理事及び入会3年以内の会員)
- ・ 10月7日(水)ガバナ公式訪問 アパホテル名古屋
11:30～12:30 会長・幹事懇談
12:30～13:30 合同例会
- ・ 各委員会の委員長の方は委員会の予定を事前に幹事の方までお知らせ下さい。

委員会報告

加藤新世代副委員長インターアクト年次大会に参加しました。若い方たちと交流ができて非常によかったと思います。また、ライラセミナーについても広報がありました。加藤クラブ奉仕委員長来週の例会変更の納涼例会の集合時間を18:50としたいと思います。他の詳細に関しては近々にメール配信します。青木会長エレクト地区増強委員会に出席しました。大澤ガバナも参加されました。1996年以降の会員減少は退会者の増加によるところが大きいとのこと。その意味でも会員増強はロータリーとして重要な位置づけとしています。細かくは卓話で報告します。



本日の卓話のテーマは、「自社の環境対策に対する取り組み」ということですが、以前、名古屋市エコ事業所認定制度に関する取り組みを基に、既にお話しました。

そこで、私の生業である設計を通して、環境に対してどのように取り組んでいるのか、例えば、「サステナブル建築」について、とも考えたので

すが、準備不足と長くなりそうなので、そこは障りだけにして、「省エネ」と「地球温暖化問題」に関する内容についてお話ししたいと思います。まず、「サステナビリティ」とは、「持続性」のあるということで、省エネルギーという視点を越えた、地球と人類が共生している仕組みを壊すことなく、未来に持続させていくことを意味するものです。単に建築だけを捉えるのではなく、社会や経済のあり方を通して、私たちの生活全般に関わっています。工業化が進み、高度成長を経て、社会が便利さを追求してきました。車、エアコン、家電、コンビニ、自販機等、数え上げればきりがありません。地球温暖化を促進する要素ばかりです。最近になって見直され始めていますが、自然エネルギーの利用、リサイクル、リユース、リニューアル等、CO2の発生の少ない循環型社会を考える必要があるのではないのでしょうか。一方で、建築を見た場合、建築の長寿命化(百年、二百年建築の考え方?)、耐久性だけでなくフレキシビリティを持った構造、設備の更新が容易、スクラップアンドビルトの開発を抑制、廃棄物を出さないシステムづくり等、「CO2削減」に向けた取り組みがあります。

次に、本題の「省エネ」と「地球温暖化問題」に入ります。(内容省略)

別紙

- ・ 省エネ法・地球温暖化対策促進法について
- ・ 夏季の省エネルギー対策について
- ・ 省エネチェック表

最後に、地球環境問題と関わる時、「Think Globally Act Locally」地球規模で考え、身近に行動する。ということが大切です。

このことは、ロータリーの活動に通じることではないでしょうか。

文責：石田 壽